

西学園だより



12月

雲南市立認定こども園西こども園
雲南市立西小学校

【文責 表面 佐貴 裏面 小田】

2学期が終わります！「ご支援・ご協力ありがとうございました」

82日間の2学期が終わります。猛暑の中でのスタート、インフルエンザの流行など心配事もありましたが、西小運動会やいきいき発表会など大きな行事をはじめ、各学級のたくさんの学習活動を通して、子どもたち一人一人が自分の力を伸ばしていった2学期でした。

行事や活動のたびに、応援に駆けつけてくださった保護者の皆様、ボランティアで参加して下さった地域の皆様、たくさんのご支援・ご協力を本当にありがとうございました。

新しい年も近づいてきています。子どもたちがお正月を楽しみに待つ気持ちは今も昔も同じだと思います。大掃除などお正月を迎える準備やお正月ならではの行事なども体験して、新年をよい年にするぞという意欲をもって迎えてほしいと思っています。

3学期は、1月9日（火）の始業式から始まります。



～ 人権週間 ・ 人権集会 ～

身の回りの差別や偏見について考えたり、人権に関する取組を全校で行ったりすることで、「相手を大切にすることを育てる」ことを目的に、人権週間・人権集会に取り組みました。

【人権標語】

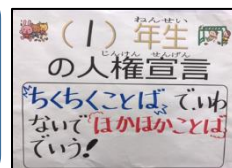
自分たちの生活を振り返ったり、学習したことを思い出したりしながら、みんなが大切にされる学校・社会をめざして人権標語を考えました。

【今年度の西小人権標語】

「みんなのすきをみとめあおう」
「つなごうよ ほくの手 君の手 心の手」
「だれにでも かがやく力 あるんだよ」

【各学級の人権宣言】

相手の気持ちを考えた言葉づかいについて、各学級で話し合い取り組んでいきました。



【ハートカード】

友達のよいところ・頑張っているところなどを書いたカードを友達にプレゼントしました。

12月18日には、全校で人権集会を行いました。人権標語・人権宣言の発表や絵本の読み語り、なかよしゲームなどを行いました。西小の子どもたちは、学年が違って協力し合ったり、男女関係なく仲よくしたりすることで、一人一人が優しい気持ち「思いやり」をもっています。この「思いやり」は目には見えませんが、言葉や態度、表情になって表れます。どんな言葉を相手に伝えるのか、どんな態度をするのかは、「思いやり」の気持ちを基にして判断し決めているわけです。「思いやり」は、様々な体験や人との関わりの中で大きく豊かになっていきます。子どもたちは、学校や家庭、地域で、嬉しいこと・悲しいこと等を経験しながら「相手を大切にすること」を学んでいっています。



～ なかよしフェスティバル ～

昨年度までコロナ禍で実施できていなかった「たて割り班活動」を、6年生が企画・運営し、「なかよしフェスティバル」として開催してくれました。6年生が考えた10のブースをなかよし班で回っていましたが、風船バレーや新聞じゃんけん、ボトルフリップなど楽しいブースがたくさん用意されていました。5年生をリーダーとしたなかよし班もよくまとまって、笑顔いっぱいの楽しい時間があつという間に過ぎていきました。6年生が全校のみんなに楽しい時間をプレゼントしてくれました！！

